

# 皇學館 学園報

第104号  
令和7年2月



■注目記事

イベント&エデュケーション 2面  
「放課後学習・皇大生サポート教室」を開設

グローバル 3面  
学生3名が留学の意義を語る 神都ライオンズクラブ定例会

カルチャー&スポーツ 4面  
4年生の活躍で2年ぶりの優勝! 東海学生駅伝

5面  
内定者ボイス

中高トピックス 6面  
高等学校LL教室にスマートインフィルを設置 DXハイスクール加速化事業

7面  
高等学校・中学校 卒業生随想

アクティヴスチューデント 8面  
大学生テレビ局・北村拓音さん(現日2)の作品が優秀学生作品賞を受賞 ヤング映像クリエイターを励ます賞 学生作品賞ほか

■シリーズ  
皇學館玉手箱Vol.4  
「掃某島地売券」

発行・編集 学校法人皇學館 企画部  
TEL 0596-22-6496・8600

大学 大学院 文学部 教育学部  
専攻科 現代日本社会学部  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校  
三重県伊勢市楠部町138  
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)  
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

## 令和7年学長年頭講話 神宮式年遷宮への皇學館の関わり 御料木の奉搬 御樋代木奉曳式と御木曳

令和15年秋の「遷御の儀」に向け、準備が始まる令和7年。1月9日の年頭講話で河野訓学長は「神宮式年遷宮への皇學館の関わり―御料木の奉搬 御樋代木奉曳式と御木曳―」と題し、本学創立の歴史や1300年余りにわたり継承されてきた式年遷宮との関わりについて語った。

### 令和7年より始まる「御神木のお祭り」

1月9日、河野訓学長が記念講演にて学長年頭講話を行い、今年から準備がよい本格化する「第63回式年遷宮」の諸祭事・諸行事について語った。

1月9日、河野訓学長が記念講演にて学長年頭講話を行い、今年から準備がよい本格化する「第63回式年遷宮」の諸祭事・諸行事について語った。

式年遷宮は20年に一度、社殿および御装束神宝を新たに造り替え、神様に真新しいお宮へお遷りいただく神宮最大の神事である。昨年4月9日、神宮の久邇朝尊大宮司が記者会見を開き、天皇陛下より「御聴許」を賜り、令和15年秋の遷御をめざして「第63回式年遷宮」の準備に万全を期す覚悟を述べられた。

講話で河野学長は初めに本学の発祥に触れ、明治15年、時の神宮祭主・久邇宮朝彦親王の令達によって旧林崎文庫に創設された神宮子弟の学問所「皇學館」が起源であることや、神宮のご意向を汲みながら神宮の諸祭儀・諸行事に深く関わることは創立以来の方針と語った。

### 300年かけて育てられた松を奉搬

式年遷宮では遷御の年に向け、9年の歳月をかけて33の諸祭儀・諸行事が執り行われる。河野学長は木曾の御杣山で伐り出された御樋代木を伊勢へと奉搬し、神域へ曳き入られる「御樋代木奉曳式」等に言及し、「300年かけて育てられた松を、感謝を込めて伐採し、国民が敬意をもって奉搬する行事。これらを遂行できるのはご料木を確保できたから。多くの人間が関わって300年にわたり木を育てている。そのありがたみに思いを馳せていただきたい」と説いた。また、宮域林と呼ばれる神宮の森ではご造営用材の自給をめざし、大正12年から200年計画で松の育成に取り組んでいることや、松が用いられる理由については「日本書紀」の「素戔嗚尊(すさのおのミこと)称へて曰はく、杉と檜樟と、此の兩樹は、以ちて浮宝にすべし。檜は、以ちて瑞宮の材にすべし。杉は、以ちて顕見蒼生の奥津棄戸(おくつ)に将ち臥さむ具にすべし」(神代上(第八段)一書第五)との記述を紹介した。

### 前回の「御樋代木奉曳式」では学生約90名が曳き子に

今年は山口祭、木本祭、御杣始祭、御樋代木奉曳式、御船代祭が執り行われる予定だ。前回、第62回式年遷宮の「御樋代木奉曳式」では本学の学生約90名が曳き子となり奉搬している(本紙第5号参照)。

機会があればご遷宮の諸行事にぜひ参加してほしいと学生に呼びかけた河野学長は講話を聴いて興味を持ったことを自ら探究してほしいと話し、新年の講話を締めくくった。



御用材の確保に向けた長年の取り組みについて、宮域林を見学した際の話などを交え語る河野学長



講話に聞き入る学生たち



(学園報 第5号 平成17年9月発行)

倉田山 春秋

今年は昭和百年、終戦八十年に当たる▼戦後の昭和を単純化すれば、エネルギー資源もなく、食糧を自給するだけの国土を有しない日本において、モノづくりによって、外貨を獲得し、エネルギーと食糧を調達することで昭和四十二年には人口が一億人を超えるまでになった時代といえる▼バブル崩壊後は、家電、自動車、半導体に続くモノの目星がつかないまま、パナソニックの松下幸之助やソニーの井深大・盛田昭夫のような人物が登場せず、モノを売りさばく相手国もなくなつて沈滞ムードは長く続いたまま▼国は貯蓄から投資への転換をめざすが、本来の資本家が産業を支える仕組みではなく、単なる利鞘稼ぎに見えてしまうのは持たざる者のひがみ根性というべきか▼少子化が進むのも本能的にエネルギーや食糧を確保できない将来を感じ取っているように思う▼「衣食足りて礼節を知る」というが、礼節を知るためには文学や歴史を学ばねばならないだろう▼もはや、そうしたことを知る余裕もない時代だと嘆くのではなく、今こそ、礼節の側からその有用性を説く努力が求められている。

### 令和7年4月 数理教育コース(中高教員)で 理科教員養成スタート!

教育学科「数理教育コース(中高教員)」では、中高の数学教員に加えて令和7年4月から理科の教員養成をスタートさせます。生命や環境、エネルギーなど生活に深く関わる「理科」。理論的な知識と実践的なスキルをもって理科の魅力を伝え、生徒の探究心や主体性を育む理科教員を養成します。

数理教育コースでは、小学校、中学校・高等学校(「数学」又は「理科」)の教員免許が取得可能となります。将来の選択肢が広がります。

#### 「数学」又は「理科」で 小中高のトリプル取得が可能

①小学校教諭一種免許

+

②中学校教諭一種免許(数学又は理科)

+

③高等学校教諭一種免許(数学又は理科)

※①を取得する場合、②と③の免許の教科は、数学もしくは理科のどちらか1つとなります。

#### 「数学・理科」ダブルで 教員免許取得も可能

中学校教諭一種免許(数学・理科)

+

高等学校教諭一種免許(数学・理科)

カリキュラム選択により、中学校・高等学校の両免許で「数学」「理科」の2教科をダブル取得することも可能です。

※この場合、小学校教諭一種免許の取得はできません。

#### 入試TOPIC (後期出願受付)

#### 国公立大学との併願も可能

一般選抜(後期)・共通テスト利用(後期)の出願は3/1(土)~10(月)。

問合せ先●学生支援部入試担当  
TEL 0596-22-6316(直)

## Event & Education イベント&エデュケーション

# 中大連携「放課後学習・皇大生サポート教室」を開設



「わかりやすい」と好評

本学と皇學館中学校が連携し、新たな教育の取り組み「放課後学習・皇大生サポート教室」を令和6年秋に開始した。教育に関心を持つ学生の力を活用して中学校生徒の学習意欲を高め、学力定着を図るのが狙い。学生にとっても教員・社会人に必要な能力を養い、将来のキャリアにつながる経験を積める。



現在は3名の学生ボランティアが参加

「実際の学校現場で先生方や生徒と関われるのが魅力」と参加した動機を語る大杉蒼さん(教育1)。わかりやすく教えることが難しいと話し、「勉強は反復学習が大切なので、『もう一度解きたい』と思ってももらえるようたくさん褒めるようにしている」と工夫を語った。また、ICTを使った学習の多さに驚いたといい、「教え方の幅が広がった。将来は児童生徒から頼りにされたい」と話した。

「また参加したい」との声が多く聞かれた。

月・金の16時~16時50分に開校しており、今年度の活動は3月中旬までを予定。



デジタル技術の基礎知識や情報倫理など、デジタルリテラシーの向上やグローバルな視点の育成を図る

## 地域に根差した デジタル人材の育成

神宮をはじめ雄大な自然と歴史、伝統文化を擁する魅力的な地である一方、若者世代の県外流出という課題を抱える伊勢志摩にとって、地域資源を最大限に生かした新たな産業創出の鍵となるデジタル人材の育成は急務。皇學館大学と附属校である本校が連携して地域に根差したデジタル人材の養成にあたる意義は大きい。本事業を通して生徒はデジタルスキルの必要性を実感し、これからの社会で求められる人材像や未来に対するビジョンを描く力を身に付ける。以下に生徒の感想を紹介する。

# DXカリキュラムを推進 皇學館高等学校

皇學館高等学校

自分たちが社会に出ていく上でとてもためになる話だった。将来に生かしたい。

普段聞けない話を詳しく話してもらい、新鮮な気持ちで聞くことができた。

現代の社会で必要とされる人材がどのようなものなのかよくわかった。

講座を重ねるごとに最初は全然わからなかったDXについて興味が高まった。

- DX授業のスケジュール・内容
- 第1回 DXリテラシー
- 第2回 情報社会
- 第3回 データサイエンス
- 第4回 ITリテラシー
- 第5回 個人情報保護(情報セキュリティ)
- 第6回 ビジネスアナリシス

## 「学校茶道エッセイ」で 河田さん、山岡さんが佳作



左から浅沼先生、山岡さん、河田さん、河野学長

国文学科2年の河田梨沙さん、山岡美由さんが令和6年度「第45回学校茶道エッセイ」で佳作に入賞した。

河田さんは「水屋の働き」と題し、茶室で使う道具を準備したり、使用後の茶碗を洗うなどの片付けをする場所「水屋」で感じたことを綴った。「茶会の主題や季節に合わせて茶道具の取合わせを考えると、お菓子やお茶碗を運ぶタイミングを事前に確認するといった細やかな心遣いが茶会をより良くするのだと気がきました」。

山岡さんの作品は「生活のなかに茶道のこころを」。茶道での所作は日々の生活に生かせることが多いと感じた山岡さん。「例えば、毎日食事に使う箸についても、丁寧に取ることによって美しく見えます。普段から一つひとつの動作を意識して綺麗に行っていきたいです」と話した。

今後はさらにお茶の知識を身に付け、暮らしに茶道の心を取り入れていけたらと山岡さん。河田さんは「三重県立図書館のイベントでお茶会をする機会があり、とても楽しかった。学外での活動にも力を注いでいきたい」と、それぞれの目標を語った。



皇學館大学所蔵・同附属図書館保管  
◆一幅・縦29.4cm・横48.4cm  
◆応徳元年(1084年)2月13日

「皇學館宝箱」の第4弾として今回ご紹介するのは、平成17年度に本学が購入した平安時代(本学所蔵中最古)の古文書。大河ドラマで話題になった藤原道長が没してから60年ほど経った応徳元年(1084)、現在の伊勢市周辺に住んでいたと思われる掃守某という人物が、勢増という僧侶から買得した度会郡湯田郷栗野村の畠一段を、高羽江中大夫という人物に、絹20疋で売却した際の土地証文である。古代のわが国は公地公民

を建前としていたため、土地の売買にはすべて役所の許可が必要であった。そこで売主の掃守某は、伊勢神宮の判官代である大中臣近字に「辞」という文書を用いて土地売買の許可を申請しており、これを受けた近字は、その「辞」に署名して度会郡に申請し、度会郡の郡司たちはその「辞」に承認のサインを加え、「度会郡」の郡印を紙面全体に捺してその契約を認めている。千年前の現伊勢市内における不動産売買の実態を知ることのできる史料はきわめて稀で、令和3年度には伊勢市指定文化財に登録された。

国史学科教授 岡野友彦

## 掃守某畠地売券

かにもりなごははたけちばいけん



謹辞 定永地沽渡進島地立券文事  
合意段者  
在度会郡湯田郷栗野村字田島者  
四至 東限河内 西限中河 北限中河 南限中河  
直絹貳拾疋(同花押)  
右件畠地、従本領主勢増之手、買得進退領掌□□處、無有□□之事、而依有直要用、相副本券文、永所沽渡於高羽江中大夫殿如件、仍為後代立券文、以辭、  
應徳元年二月十三日 掃守  
相知妹夫大中臣「兼末」  
「件畠地沽進明白也、仍在地刀彌加證書之、  
大神宮司判官代大中臣近字□□判

# Global グローバル

## 学生3名が留学の意義を語る

昨年12月12日、伊勢商工会議所で開催された神都ライオンズクラブ例会において、留学体験者の倉本こなつさん(教育2)、鈴木結子さん(コミ3)、中島由香莉さん(教育3)が留学を通して得た学びや経験を語った。

これは、結成42年目を迎える奉仕団体・神都ライオンズクラブが円安等で留学を希望する学生にとって厳しい状況が続く中、支援策を考へる上で留学への理解を深めようと開いたもの。はじめにコミュニケーション学科の豊住誠教授が本学の留学制度について紹介。続いて、マレーシア



左から倉本さん、豊住教授、鈴木さん、神都ライオンズクラブの夏山さん、中島さん

のアジア・パシフィック大学で学んだ倉本さん、鈴木さん、ニュージールランドのワイカト大学に赴いた中島さんが発表した。

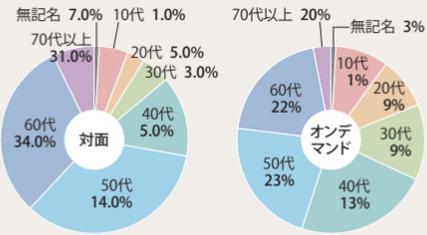
倉本さんは「多様なバックグラウンドを持つ学生たちと接したことで英語にはいろいろなアクセントがあるとわかり、自分の英語にも自信を持つようになった。英語を話す機会を増やしたいと思い、イングリッシュキャンプなどのイベントに参加してネイティブスピーカーと話す場を設けている」と視野が広がった経験を述べた。鈴木さんは「異文化交流や自分の足でさまざまな場所を訪れる楽しさを知った。留学を通して自身の語彙力が不足していることに気付いたため、帰国後は学修に励み、ポキヤブラーを増やす努力をしている」と話した。中島さんは「中学校の英語の教員をめざしており、子どもたちには日本以外の国にも興味を持つてもらいたい。また、そのような授業づくりができる先生になりたい」と将来の夢を熱く語った。

クラブの方々からは留学期間の妥当性や現地での物価事情について質問があり、有意義な機会となったようだ。

## オンデマンド形式が人気 令和6年度月例文化講座実施報告

令和6年度月例文化講座は文学部神道学科が担当し、7回開催した。受講者数は計584名(対面形式:224名、オンデマンド形式:360名)。オンデマンド形式を希望した受講者の多くは遠方地域に居住しており、対面形式と比べ60歳未満の割合が高く、約6割を占めた。オンデマンドの視聴期間を延ばしてほしいとの意見があったことから、令和7年度に向け検討していく。講座内容についてアンケートではおおむね高評価を得た。

### 受講者の年齢層



### 寄せられた声

- 長く続けてほしい。
- 知っていることでも整理整頓して講義してもらえると新しい発見がある。身近な伊勢や皇學館の歴史についても改めて取り上げてほしい。
- 毎回楽しみにしている。伊勢や三重県に関連したテーマを中心に講義してください。
- 身近なことでも改めて学習すると再発見がある。とくに対面式では参加者も含めた会場の雰囲気がある。今後も継続して開催をお願いします。
- 観光ガイドゆえに、講座は役に立つありがたいテーマ。資料もよい。
- 近代遷宮の宮大工の世界について興味があり、知りたい。

## 令和7年度 皇學館大学月例文化講座は文学部国文学科が担当

令和7年度の皇學館大学月例文化講座は、文学部国文学科が担当します。年間テーマは「書物の世界」。第1回は5月で、全8回の開催を予定しています。聴講方法は、対面形式とオンデマンド配信があります。聴講料は無料ですが、事前の申し込みが必要です。開催内容やお申込み方法などの詳細を、4月に大学ホームページにてお知らせします。

問合せ先 ●皇學館大学 地域連携推進室  
TEL.0596-22-8635

## 榎本悠孝准教授、大井智香子准教授が「生成AIパスポート」を取得 現代日本社会学科

現代日本社会学科の榎本悠孝准教授、大井智香子准教授が「生成AIパスポート」を取得した。「生成AIパスポート」はAIに関する知識と実践的な活用能力を証明する資格で、日本最大級の生成AI資格試験として知られる(一般社団法人生成AI普及協会調べ)。これまでもITパスポート取得支援など学生のICTリテラシー習得をサポートしてきた福祉展開コースでは、今年度から試行的に「生成AI」についての教育プログラムを実施している。



榎本准教授 大井准教授

両准教授は今回の「生成AIパスポート」取得で得られた知識やスキル、ネットワークを生かし、日本を牽引するAI有識者の協力を得ながら、より実践的な「生成AI」教育と地域社会で役立つ活動を展開していくと話した。福祉展開コースの教員4名は生成AIに関する共同研究に取り組んでいる。大井准教授を研究代表とする「地域住民の福祉相談対応に資する生成AIシステムの構築可能性に関する研究—多重課題を有するケースデータの管理を中心に—」が2024年度ユニバーサル財団研究助成で採択されている。

## 学会報告 中国政法大学法律古籍整理研究所 創立四十年記念国際学会に参加して

皇學館大学研究開発推進センター教授 荊木美行



中国政法大学の海淀区のキャンパス



平成14年5月に開催された中国政法大学創立五十周年記念の学会にて(前列中央が大庭脩先生、2列目右端が徐先生、2人おいて筆者)

5年ぶりの北京は、戸惑うことばかり。宅配サービスからタクシーの配車まで、なんでもスマホのアプリからという徹底ぶり。街に溢れるのは、美团(中国大手の宅配サービス)のドライバーが運転する電動バイク。少し前には想像もできなかった光景である。

コロナ明け、久々に中国の土を踏んだのは、令和6年11月23・24の両日中国政法大学法律古籍整理研究所(以下、「古籍研」)が主催する創立四十周年記念の国際学会に出席するため。懐かしい顔ぶれとの再会に喜びつつ、かつて本学史料編纂所が古籍研と学術交流の協定を結び、お互いが日中を往来して共同研究に励んだ往時を偲んだ。

大庭脩先生の肝入りで両研究所が学

術交流の協定を結んだのは、平成11年1月のこと。当時、大庭先生の招きで来日していた古籍研所長の徐世虹先生と史料編纂所所長恵良宏教授との間で協定の調印が行われた。つい昨日のことのようだが、もう四半世紀も前になる。国際学会の初日に参加者に配布された「智者不惑 中国政法大学法律古籍整理研究所成立四十周年記念冊40(1984-2024)」には、長年にわたる学術交流が写真入りで詳しく紹介されていた。

残念ながら、その後協定は終了し、加えて近年のコロナ禍の影響もあり、以前ほど活発な行き来はなくなった。メンバーの世代交代も進んだが、それでもかつての友誼を忘れることなく、われわれを招聘してくれる彼らの心根が嬉しい。水を飲むときは、井戸を掘った人の恩を忘れてはならない——周恩来「語録」の一節だが、帰国の途に就きながら私が思い出したのはこの言葉であった。

## 3年生15名が「英語で伊勢ガイドツアー」を実施

皇學館中学校



ジェスチャーを交え一生懸命に英語で発信する生徒たち

参加した生徒は「とても楽しいひと時を過ごせた。また、英語でどう言えばいいかわからない時でも、代わりの単語を使うなど、「話す」ことが大切だと気付いた。『普段の英語の授業やオンライン英会話で学んだことを生かした。グループで協力し、しっかりと英語で説明することができた。これからも英語の授業を頑張りたい』と感想を話した。

英語力向上と自国文化・他文化理解を目的に、12月11日、3年生15名が「英語で伊勢ガイドツアー」を実施した。

パキスタン、モザンビーク、ミャンマー、ウズベキスタン出身の留学生を伊勢に招き、内宮とおほらい町を英語でガイドした生徒たち。事前に準備した原稿をもとに、伊勢神宮の歴史や手水・参拝の作法、てこね寿司や伊勢うどんといった伊勢名物を英語で説明した。留学生も生徒たちに気さくに話しかけ、積極的に質問するなど、互いに国や言葉の違いを越えて交流を深める充実した時間になった。



ツアー実施後はグループごとに作成した「留学生紹介シート」を共有する事後学習を行った

Culture & Sports  
カルチャー&スポーツ

第64期 学友会任命式〔1/9〕

第64期学友会が発足し、任命式が行われた。総務委員長に就任した甲田真吾さんは「河野学長より任命状をいただき、改めて学友会総務委員長としての矜持を持って任期を全うする事を心に誓いました。また、大学の繁栄のため、自分自身の人間力向上のためにも日々邁進していきたい」と抱負を語った。

|        |              |
|--------|--------------|
| 総務委員長  | 甲田真吾(現日3)    |
| 総務副委員長 | 長谷川 怜 哉(教育2) |
| 庶務委員   | 落合 聖里奈(国史1)  |
| 庶務委員   | 平岩 和 真(国史1)  |
| 庶務委員   | 高濱 瑛 太(現日1)  |

◆ 神社実習報告 ◆

何事にも誠意をもって接する

愛知県・熱田神宮

神道学科2年  
相山 もも香



両親が神職のため、幼いころから神社での祭りや奉仕する姿を身近で見えてきました。進路を考える中で、両親のように神社を守り、そこから出会ったご縁に感謝していきたいと感じたことが神職を志した理由です。

実習中の活動は主にお守りやお札、破魔矢などの授与とおみくじの対応です。職員の方には「参拝者の方が清々しい気持ちで新年を迎えられ、良い1年の始まりだと感じていただけるよう心掛ける」ことをご指導いただき、実習の開講式では「参拝に来られる方は、直接神様のお姿は見えなくても神職を通してその存在や印象を感じられる」と先生がおっしゃっていたのが印象的でした。

実習前はできるとも思っていた、長時間集中力を切らさず同じ作業に取り組むことは難しく、また、参拝者の方の表情をよく見て、自分の対応はどうだったか、改善できることはないかなど、振り返ることが大切だと思いました。何事にも誠意をもって接することができるよう精進していきたいです。

培った忍耐力を日常に生かす

京都府・八坂神社

神道学科2年  
背古 紘 臣



父親が神職をしている姿を幼少期から見ている、その姿に憧れ、神職を志しました。

実習では起床後、本殿の清掃をします。その後授与所などで社頭奉仕をして、夜に締め作業をするのが大体のスケジュールです。実習先の八坂神社は参拝者が多いのですが、「作業をこなす」のではなく、一人ひとり真剣に丁寧に授与できるよう取り組みました。祭式では、基本であるよい姿勢を常に保てたと思います。また、事前指導では、言葉遣いや授与中の態度についての指導があったので気を付けるように努めました。また、参拝者の方にしっかりと受け答えができたのは、大学の授業でしっかりと学んでいたことが役に立ったと思っています。

実習は2回目で、去年よりもスムーズにできた部分はありますが、まだまだ学ぶことが多いと考えています。また、実習で培った言葉遣いや応対の仕方は、他の場面でも役立つと思います。今回の経験を通して養った忍耐強さを日頃の生活に生かしていきたいです。



有終の美を飾った岩島選手(左)と曾越選手。曾越選手は区間賞まであと1秒だった

アンカーの前野選手は「襷を受け取った瞬間に岩島先輩から『頼むぞ』と言われ、強い気持ちでいっただいた」と語り、「先輩方の練習に取

第86回東海学生駅伝対校選手権大会。本学駅伝競走部が昨年12月8日に愛知県美浜町で開催された第86回東海学生駅伝で2年ぶり7回目の優勝を果たし、今年10月に開催される出雲駅伝の出場権を手中に収めた。今回から1区間減の6区間、距離も8・6キロ短くなり、例年とは異なるコースとなった本大会。当日は今季一番の冷え込みとなり、海辺特有の強風が吹く難しいコンディションの中、オープン参加を含む21チームがスタートを切った。本学チームは前半3区まで6位と苦しい展開が続いたが、3区・曾越大成選手(教育4)

年、目の前で優勝テープを切られ悔しい思いをしたメンバーは多い。この大会で勝つことができているのは、「先陣の走りを見て、人はいくつになっても成長できると感じたし、負けてはならないと触発された」とよきライバルであると同時に、最高の仲間でもあったメンバーへの思いを明かした。

総合成績

| 順位 | チーム     | 記録      |
|----|---------|---------|
| 優勝 | 皇學館大学   | 2:48:19 |
| 2位 | 名古屋大学A  | 2:48:32 |
| 3位 | 愛知工業大学  | 2:49:00 |
| 4位 | 中京大学    | 2:49:48 |
| 5位 | 岐阜協立大学A | 2:50:35 |
| 6位 | 三重大学    | 2:54:22 |
| 7位 | 愛知教育大学  | 2:59:21 |
| 8位 | 岐阜大学    | 2:59:55 |

個人成績

| 区間        | 選手         | 記録    | 区間順位 | 通過順位 |
|-----------|------------|-------|------|------|
| 1区 7.0km  | 田中 瑞輝(教育2) | 22:02 | 6位   | 6位   |
| 2区 11.3km | 田中 靖晃(現日3) | 35:31 | 6位   | 6位   |
| 3区 9.2km  | 曾越 大成(教育4) | 27:24 | 2位   | 6位   |
| 4区 9.1km  | 新聞 圭(現日2)  | 27:12 | 3位   | 4位   |
| 5区 11.4km | 岩島 昇汰(国史4) | 34:49 | 1位   | 2位   |
| 6区 6.9km  | 前野 皓士(コミ2) | 21:21 | 1位   | 1位   |

最初こそ自分のために走っていたが、本当にたくさんの人に応援してもらった。みんなのためへの思いが強くなり、感謝の走りしようという気持ちに変わった」と振り返った。岩島選手は「継続する大切さを学んだ。誰よりも多く走り込み、地道に練習していた曾越君が2年目に一気に伸びた姿を見て、人はいくつになっても成長できると感じたし、負けてはならないと触発された」とよきライバルであると同時に、最高の仲間でもあったメンバーへの思いを明かした。

が区間2位、5区・岩島昇汰選手(国史4)が区間賞の力強い走り流れを変え、最終6区へ。襷を受け取った前野皓士選手(コミ2)もその勢いに乗り、自身も区間賞に輝く疾走でリードを広げ、13秒差で見事逆転優勝を飾った。寺田夏生監督は、「4年生が最後のレースということでの力を振り絞り、アンカーにいい位置でつないでくれた。チーム一丸となって勝ち取ることができた」と称えた。主将の毛利昂太選手(国史4)は「昨年、目の前で優勝テープを切られ悔しい思いをしたメンバーは多い。この大会で勝つことができているのは、「先陣の走りを見て、人はいくつになっても成長できると感じたし、負けてはならないと触発された」とよきライバルであると同時に、最高の仲間でもあったメンバーへの思いを明かした。

4年生の活躍で2年ぶりの優勝!  
第86回東海学生駅伝対校選手権大会



逆転Vを決め、笑顔のメンバー

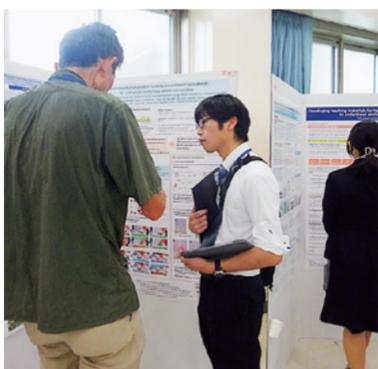
Academic アカデミック

国際学会で4名がBest Presentation Awardを受賞!

中松ゼミ・澤ゼミでの研究成果を世界へ発信 ◆アジア生物教育協議会 第29回 隔年会議



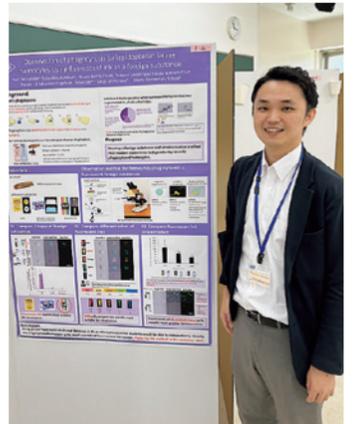
学部生が実験について紹介



松谷先生のポスター発表

10月12日から14日にかけて愛媛大学で開催されたアジア生物教育協議会第29回隔年会議に中松豊教授・澤友美准教授のゼミ生ら11名が参加した。大学院2年の二宮功至さんはレゴブロックを用いた小学6年理科の出前授業の成果をポスター形式で発表。教育学科3年の岡田寛汰さん、長和華さん、國富恵詩郎さん、汲川紗凡さん、中野優子さん、同4年の古川拓城さん、見並大輝さんは中松教授・澤准教授と共にアワヨトウやカメムシなどの昆虫を用いた教材を紹介するワークショップを開いた。同会議にはフィリピンやタイ、韓国などアジア各国から生物教育に携わる研究者が集まっており、学生らは英語で活発な意見交換を行った。

また、本学非常勤講師の奥村雄暉先生は高等学校生物基礎における蛍光インクを用いた食用の観察実験と授業実践、本学卒業生で現在は小学校教諭の松谷広志先生は小学6年理科におけるレゴブロックと昆虫を用いた教材開発、教育学科の澤准教授は生活科の自然観察に関する教材開発と授業実践について発表し、いずれも優れた発表に贈られる「Best Presentation Award」を受賞した。なお、中松教授が指導する三重大学2年生も寄生蜂の行動に関する発表で中高生ポスター発表部門「Best Presentation Award」を受賞している。今後の活躍に期待大だ。



奥村先生のポスター発表

# 内定者ボイス

神職・教職・公務員編

早めの準備がカギとなる就職活動。今回は神職、教職、公務員として内定を獲得した先輩たちの声を紹介します。

- ①大学で得た学び
- ②アピールポイント、成功の秘訣
- ③先輩へのアドバイス

①「日本民俗論」の授業を通して多様な観点から物事を捉える面白さを学んだ。神職養成部で面接練習をしたことで神社での面接をとてもスムーズに行うことができた。②神職である母の仕事を手伝う中で自分がどのようにするべきかを聞き、実践していた。③県単位ではなく、東海などといった広域で奉職先を探した方がよい。



川北 笙一郎 (神道) 奉職先 南宮大社



久保田 珠鈴 (神道) 奉職先 乃木神社

①神宮の祭典を拝観した際、「神宮史」の講義で得た知識が儀式の意味や作法を深く理解する上で助けになった。理論と実践が結び付き、より豊かな学びとなった。祭式研究部に所属し、講義だけでは体得できないような細かい所作まで身に付けられた。②一般家庭の出身ですが、神社界に奉職した際に即戦力となるように積極的に奉仕に参加し経験を積んだ。③細かな自己分析と、弱点を補うための対応策の実行。



吉岡 舜将 (国文) 内定先 中学校(国語)

①倉志会で国語の専門的な学習ができ、とても役立つ。②司書教諭資格や、中学校・高校の国語などの教員免許を可能な限り取得した。教職支援室での面接練習は本当に手厚く、ありがたい。的確なアドバイスをいただけるのでスマホに録音して分析し、想定問答を作った。③進路が同じ仲間を大切にしよう。情報共有したり、励まし合える。



岩島 昇汰 (国史) 内定先 中学校(社会)

①吉田松陰をはじめゼミで学んだ偉人の生き方や思想を通し、志・目標を立てることがすべての原動力になると感じた。②駅伝競走部と教職の両立は大変だったが、自分で選んだ道だからこそ頑張れた。効率よく勉強できるよう過去問から傾向をつかみ、出題されそうなところ、苦手な分野に集中した。友人が面接や模擬授業などの練習に付き合ってくれた。③一次を絶対に合格するつもりで余裕をもって準備すること。



北岡 空 (国文) 内定先 中学校(英語)

①学生サポーターなどのボランティア活動で先生と触れ合う機会があり、授業作りに生かされた。生徒に伝わるかを常に意識して模擬授業を組み立てた。②面接試験は予想できないため、集団面接対策講座を受講して他の人の回答や面接官がどのようなポイントを突くのかなどを分析し、本番に備えた。周囲と比べず、自分のペースを守った。③自分が受けようと思っていいる県の授業の進め方や流れを知っておくとよい。



黒井 涼多 (教育) 内定先 三重県小学校

①教科の指導法の先生の熱い教育観に胸を打たれ、社会科教育の道志した。「1週間に1冊」を目標に友人と教育書や哲学書を勧め合い切磋琢磨した。②「つばさ」で模擬授業や場面対応を行うことにより度胸が付いた。個人面接では個々に応じたアドバイスをいただけ、自己分析をより詳細にできた。③教育アシスタントや教採に向けた勉強など、何事も早いうちから。その頑張りや本番での自信につながる。



吉田 奈未 (教育) 内定先 愛知県小学校

①教科の指導法の授業で模擬授業を繰り返すうちに、授業に対する自信が深まった。授業を考え、伝えることの難しさを学べた。②愛知県の教採対策を専門とする教職アドバイザーの方に指導していただき、愛知県の試験に合った対策、準備をした。③3年生の1月から勉強を始めたが遅かったと感じたので、早く始めることをおすすめする。同じ志を持った仲間がたくさんいるので最後まで頑張れると思う。



松林 恭加 (教育) 内定先 豊浜西保育所

①ゼミで小学生と関わる機会が多く、「幼児期はその後の成長の土台となる重要な時期」と改めて認識した。大学の先生方との距離が近く、いつでも話を聞いてくださるので頑張れた。②複数の保育園で自主実習を行い、子どもとの触れ合いを通して言葉遣いや接し方、身だしなみなど保育者としての基本を身に付けた。③4年生の春ごろから就職先の求人や情報に目を通しておくこと、スムーズに就職活動に取り組める。



鈴木 琴葉 (現役) 内定先 三重県庁

①演習の授業でソーシャルワークの手法を実践的に学べた。児童養護施設での実習や不登校の子どもの支援するボランティアなどの福祉活動に積極的に参加し、支援者としてのスキルを磨いた。②面接に備え、SNSや新聞記事をチェックして時事問題に関する知識を蓄えた。③ガイダンスや企業説明会に参加することで、やるべきことがわかり勉強になった。早めに進路を絞っておくと就職活動に集中できる。

## 3/1 就活解禁 特別企画

就活はいつ、何から始めればいいのか? 学生のギモンに就職担当がお答え!

新3年生必読!

# 就職活動準備 Q&A

3月1日に企業の広報活動が開始(=就活解禁)となりますが、採用活動は早期化しており、4年生の5月には約70%(全国調査)が内定を得ているというデータも。でも、何から始めたらいいか、戸惑っている学生は多いのではないのでしょうか。今回は4月から新3年生になるコウさんとガクさんが就活準備のギモンを就職担当のスタッフにぶつけました。

私たちが新3年生は就活準備を何から始めたらいいのかわかりません。

僕もです。自己分析とかガクチカとか、どうやればいいのか想像もつきません。

安心してください、多くの学生が同じように悩んでいます。就職活動は自分自身と向き合い、将来のキャリアを考える良い機会です。焦らず、ひとつずつステップを踏んでいきましょう。ざっと就職活動の準備項目を書き出してみました。3年生の4~7月でもこれだけのタスクがあります。

- 自己分析(興味や能力、価値観の洗い出し)
- 自己PR作成、ガクチカ作成

- 仕事研究(企業探し、同業他社比較など)
- 企業エントリー
- インターンシップ合同説明会参加
- インターンシップ選考対策(エントリーシート作成など)
- インターンシップ参加対策

自己分析は具体的にどんなことをすればいいですか?

たとえばこれまでの経験を振り返り、どんな時に楽しさを感じたか、どんなことにやりがいを感じたかなどを書き出してみてください。アルバイトやボランティア活動等、社会経験を通じて学んだことなども自己PRに繋がるヒントになります。

自己分析ができれば、次はどんなことをすればいいですか?

自己分析の結果を踏まえ、業界研究と企業研究を行いましょう。興味のある業界の動向や気になる企業の事業内容、企業理念などを深く理解することで、どの業界や企業が自分に合っていて、どんな仕事内容が向いているのかを考えることができます。

インターンシップは参加した方がいいのでしょうか?

令和7年(2025)卒業の学生からインターンシップを通して取得した学生の個人情報を一定の条件下で広報活動や採用選考活動に使用で

きるようになりました。学生にとっても社風や仕事内容がわかるだけでなく、企業側に意欲を示す機会にもなります。気になった業界のインターンシップにはなるべく参加することをおすすめします。

うーん、やることが多すぎて頭がいっぱい…。

就職活動は決して一人で行うものではありません。就職担当ではガイダンスや講座、面接(相談、履歴書作成、面接練習など)の支援を行っています。6月からは3年生対象の個人面談を実施します。何から始めたらいいのかわからない場合は、まず相談に来てください。また、就職担当には過去に採用試験を受けた先輩からの報告書もあり、面接の質問内容などが記載されています。就職活動は地道な準備が決めます。一緒に頑張りましょう!

### 「キャリア形成支援に関する取組み4類型」の概要

出典：人事の図書館

| 名称   | 内容                  | 対象                             | 実施期間                   | 実施時期                           | 就業体験   | 採用との連携 |                |
|------|---------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------------|--------|--------|----------------|
| タイプ1 | オープン・カンパニー          | 企業説明会など                        | 学年問わず(院生含む)            | 1日                             | 全期間    | なし     | ×              |
| タイプ2 | キャリア教育              | 企業のCSRプログラム<br>大学の授業や産学協働プログラム | 学部生(主に低年次)             | プログラムによる                       | 全期間    | 任意     | ×              |
| タイプ3 | 汎用的能力・専門活用型インターンシップ | 従来「長期インターンシップ」と呼ばれていたもの        | 学部3・4年次<br>ないしは院士1・2年次 | 汎用的能力活用型: 5日以上<br>専門活用型: 2週間以上 | 長期休暇期間 | 必須     | ○<br>※採用活動開始以降 |
| タイプ4 | 高度専門型インターンシップ       | 大学と企業が連携して実施するプログラム            | 大学院生                   | 2カ月以上                          | 今後検討   | 必須     | ○<br>※採用活動開始以降 |



## ブラジル大志万学院と中・高生徒が交流

重県が姉妹提携を締結しているブラジル・サンパウロ州より、日本語教育や日本文化理解に取り組み、隔年で日本への研修旅行を実施している大志万学院の生徒ら計52名が来県。1月17日、本校の高校生・中学生と交流した。



当日はグループに分かれて外宮を案内

外宮参拝に訪れた一行を「みえグローバル学生大使」\*に任命されている本校高校生5名と、中学2年生16名が案内。手水のやり方や参拝の仕方、別宮の説明をしながら外宮内を散策した。式年遷宮記念せんぐう館ではスタッフのガイドを聞きながら、外宮や式年遷宮の歴史について一緒に学んだ。同世代ならではの身近な話題でおしゃべりを楽しむ姿も見られ、交流を深めた。以下に生徒の感想を紹介する。

\*みえグローバル学生大使…三重県知事により委嘱された、三重県内において国際交流や国際貢献といった国際的な活動を継続的に行う高校生及び大学生等のこと

### 生徒の感想(抜粋)

#### 【高等学校】

●ブラジルの生徒の方たちが日本や伊勢神宮に興味を持ってくれたので嬉しかったです。互いに伝えたいことが理解できたときは今までにない喜びを感じました。今回の経験を生かして今後もこのような活動に積極的に参加したいと思います。



#### 【中学校】

- ブラジルの生徒たちは皆明るくて元気いっぱいでした。「次の式年遷宮はいつですか?」などいろいろ質問をされました。お土産にお守りを買っている留学生が多かったです。初めての人に説明するのは難しい反面、楽しさもありました。
- とてもフレンドリーで話やすく、アニメの話などで盛り上がりました。ジブリが好きという方がおり、自分と同じだったので嬉しかったです。英語だけではなく英語と日本語両方で案内するのはすごく新鮮で、いつもとは違う感覚で交流ができました。

## LL教室にスマートインフィル等を設置

### DXハイスクール加速化事業



デジタル人材の育成や文理横断型探究学習の拠点として今後の展開が注目される

文部科学省より令和6年度DXハイスクールに指定された本校では、DX事業の一環としてラーニング・ラボ(LL教室)の環境整備を推進している。この度、ICTデバイス等を自在に実装できるSmart Infill(スマートインフィル)\*や高性能プロジェクター、360度カメラなどの設備・機器がLL教室に導入された。

設置を記念し、12月12日にオーストラリアにある姉妹校・ローズヒル校とのオンライン交流会を開催した。交流会には本校1年8組の生徒25名が参加。両校の生徒たちは互いに挨拶を交わし、学校紹介や質疑応答を行った。本校の生徒は英語で、ローズヒル生は日本語でコミュニケーションを図り、言語の壁を越えた活発な交流が実現し、双方にとって異文化理解を深める貴重な機会となった。

設備が拡充されたLL教室は今後授業等で活用される予定だ。最新のICT環境のもと、グローバルな視点を育み、未来を切り開く力を養っていく。

\*スマートインフィル…ICT機器や電源機器等を自由に装着でき、さまざまな構成の情報化空間を構築できるシステムユニット。

## 新校友会本部役員が抱負

1月22日、セミナーホールにおいて全校集会が行われ、新旧校友会本部役員が挨拶をした。新たに役員となった生徒たちは学校生活をさらに充実すべく、意気込みを語った。



前列右端から時計回りに前田さん、石井さん、小林さん、濱地さん、松井さん

### 総務委員長 石井 佑吾(2年A組)

昨年度、書記を務めさせていただいた経験を生かし、今年度は生徒代表であるという自覚を持って、皇學館中学校がよりよい学校になるように、精いっぱい校友会活動に取り組んでいきたいと思っています。

### 総務副委員長 小林 なな子(2年A組)

昨年度は、会計を務めさせていただき、さまざまな経験を積むことができました。今年度は総務副委員長という立場に変わり、責任の重さ、緊張、不安を感じていますが、精いっぱい頑張ります。よろしくお願いします。

### 総務副委員長 前田 愛莉珠(2年A組)

立会演説会で皆さんにお伝えした目標を達成しつつ、今よりもさらによい学校にしていけるように努力していきたいと思っています。

### 書記 濱地 風奈(1年A組)

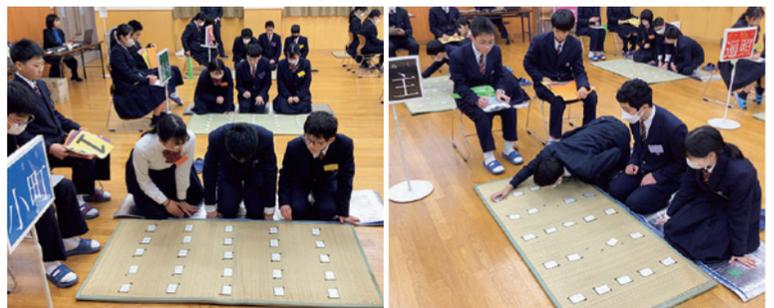
私は、もうすぐ入学してくる新入生たちのよいお手本となる先輩になれるよう、校友会活動を通して成長したいと考えています。よろしくお願いします。

### 会計 松井 春陽(1年A組)

私は、校友会本部役員の先輩方と協力しながら、楽しい企画やKnis運動\*目標を考えていきたいです。よろしくお願いします。

\*Knis運動…皇學館中学校を日本一にするための運動

## 第25回 百人一首大会を開催



団体戦、個人戦いずれも日ごろの学習の成果が発揮され、ハイレベルな戦いとなった

今年で25回目を迎える百人一首大会が今年度も盛大に開催された。各学年、国語の授業内や日々の休憩時間を積極的に活用しながら句の暗記に力を注いできており、本日その成果が遺憾なく発揮された。

競技は「団体戦」と2グループから成る「個人戦」の2部門に分かれ、各部門において白熱した試合が展開された。団体戦においては各学年、一丸となって札を取り合い、仲間内で大声援を送る姿が印象的であった。個人戦においては、生徒一人ひとりが練習の成果を出し合い、レベルの高い戦いが繰り広げられた。とりわけ終盤では、さらに甲乙つけ難い試合展開となった。

結果、団体戦と個人戦の成績を鑑み、3年A組が総合優勝を勝ち取り、個人戦においては3年A組 三島香里奈さんと1年A組 須川功一朗さんが各グループにおいて優勝に輝いた。

|     |          |           |
|-----|----------|-----------|
| 団体戦 | 総合優勝     | 3年A組      |
| 個人戦 | 第1グループ優勝 | 須川功一朗(1A) |
|     | 第2グループ優勝 | 三島香里奈(3A) |

生徒からは、「練習の成果が発揮されてよかった」「取ろうと思えば取れた札もあったのに、僅差で相手に取られたことが悔しかった」「学年という枠を超え、相互に対戦する中でより絆が深まったように思う」との感想があがった。

### 卒業式及び学位記・修了証書授与式の日程

|   |
|---|
| <b>皇學館高等学校</b>  |
| 3月1日(土) 10:00～ 皇學館大学記念講堂  |
| <b>皇學館中学校</b>   |
| 3月19日(水) 10:00～ 中学セミナーホール   |
| <b>皇學館大学</b>  |
| 3月18日(火)  |
| <b>①神宮参拝</b> 外宮表参道手水舎前集合<br>外宮参拝(教職員のみ御垣内参拝)の後、<br>内宮御垣内参拝<br><b>【文学部・文学研究科・専攻科】</b><br>(8:30集合) 8:30～10:50<br><b>【教育学部・現代日本社会学部・教育学研究科】</b><br>(8:40集合) 8:40～11:00 |
| <b>②学位記授与式</b><br>11:30～12:40 記念講堂  |
| <b>③教員免許状・階位証等交付</b><br>12:50～13:50 各教室   |
| <b>④祝賀会</b><br>14:00～15:30 総合体育館メインアリーナ   |
| <small>※ご家族など付添の皆様には大学内の教室において学位記授与式の様子を中継にてご覧いただけます。<br/>         文学部：231教室、教育学部：211・212教室、<br/>         現代日本社会学部：431教室</small>                                    |

令和6年度  
皇學館大学教育学部 卒業記念ミュージカル

## 海と陸をつなぐ宝物

「はじめまして」は勇気の一步

3/8(土) 3/9(日)

予約不要・入場無料

皇學館大学記念講堂  
開場 13:30 開演 14:00

5年ぶりに教育学部4年生有志によるミュージカルが帰ってきました！  
 リルとルナは、海に捨てられたゴミに悩んでいるよ。いっしょにゴミをなくす方法を探に行こう！会場でみんなを待ってるよ!!

【問合せ】  
 皇學館大学 教育学科研究室  
 TEL 0596-22-6458

### 令和6年度 春季フィールドワーク

| 学科        | 引率教員                     | 日程              | 目的地・方面      |
|-----------|--------------------------|-----------------|-------------|
| <b>国内</b> |                          |                 |             |
| 教育        | 上野 祐一<br>萩原 浩司           | 2/24(月)～2/26(水) | 福岡・大分・熊本    |
|           | 小川 真由子<br>土谷 長子          | 2/24(月)～2/26(水) | 沖縄          |
|           | 片山 靖富                    | 2/24(月)～2/27(木) | 北海道         |
|           | 加藤 純一                    | 2/25(火)～2/28(金) | 北海道         |
|           | 中條 敦仁                    | 2/25(火)～2/28(金) | 福岡          |
|           | 豊住 誠<br>吉田 明弘<br>吉田 直樹   | 2/24(月)～2/27(木) | 沖縄          |
|           | 野々垣 明子<br>渡邊 賢二          | 2/27(木)～3/2(日)  | 沖縄          |
|           | <b>海外</b>                |                 |             |
| 国史        | 谷口 裕信<br>堀内 淳一           | 2/25(火)～2/27(木) | 韓国(釜山)      |
| 教育        | 井上 兼一<br>渡邊 毅            | 2/24(月)～2/26(水) | 中華民国(台北)    |
|           | 大杉 成喜<br>駒田 聡子<br>高橋 摩衣子 | 2/24(月)～2/26(水) | 中華民国(台北)    |
|           | 佐藤 武尊                    | 2/23(日)～2/27(木) | ベトナム(ホーチミン) |

## 皇學館高等学校・中学校 卒業生随想

この春、皇學館高等学校は333名、皇學館中学校は17名が卒業を迎える予定です。彼らが胸に去来する思いを語りました。

### 皇學館中学校

#### 挑戦と勇気が人生を変える

3年A組 酒徳 菜々美



随想を書いているこの瞬間も、宝石のような数々の出来事や、心まで暮れてしまっていた帰りが鮮明に思い出されます。

入学前、コミュニケーションが大の苦手だった私は、いつも自信がなく機嫌をうかがうような話し方をしていました。そこから1000日あまりがたった今日は、自分自身の挑戦と勇気が人生を大きく変えると実感しています。

1年生のころ、人との距離や話し方がつかめなかった私は、孤独と焦りでいっぱいでした。しかし、何人もの先輩や先生方が放課後に長い時間をとってくれ、たくさん話をしました。そして、アドバイスを受け入れ成長したことで、今ではいろいろな人と笑いあえ、信頼ももらえるようになりました。自信を持ってゆっくり落ち着いて接し、力んだり無理する必要はないこと、そして何より人を頼って努力してもいいと知ることができてよかったです。高校生になったらさらにコミュニケーション能力を磨き、広い視野を持って外国の方々との交流を頑張りたいです。このように前向きになれたのは皇學館中学校の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

#### 人生に絶対必要な思い出

3年A組 太田 悠登



私はこの3年間、日々いろいろな感情を抱きながらも学校に通い続けました。

1年生のころは、何も分からず右往左往していましたが、先輩たちからいろいろなことを教わり頑張った一年でした。2年生では校友会本部役員となり、校友会活動に励みました。校友会活動では先生や先輩方からの指導を受け、失敗と成功を繰り返す中で、仕事の大切さを教わりました。このころから勉強の重要性を深く考えました。3年生時は友達の大切さがわかったような気がしました。また、私は陸上部のキャプテンを務めていました。キャプテンとしての自覚、部員のケアをしなければならぬ責任重大な仕事でしたが、楽しくみんなとできてよかったです。

この中学3年間の思い出はこれからの人生に絶対必要な思い出だと思います。うまくいったこと、いかなかったこと、ここまでは頑張れてよかったです。

#### 贈る言葉 「君たちなら大丈夫」

第3学年担任 奥村 裕

卒業アルバムの写真を選びながら、皆さんの成長に担任として安堵と喜びを感じています。

「早く一人前の皇學館中学生になろう」と言い続けた1年生のころは、ドタバタの毎日とともに過ごしました。目の前に行事や考査に一所懸命に取り組む中で、徐々にクラスの絆が深まっていきました。2年生になった君たちは、表情が引き締まってきました。縦割り班や部活動で、先輩に学びながら後輩たちに親切に接する姿が見られました。東紀州への宿泊研修などさまざまな体験の中で、協力して達成しようとしていた姿は頼もしく感じました。3年生になってからも、毎日たくさんのことを伝えていましたが、「言われなくてもわかっていますよ」と表情で訴えられる日々でした。君たちはいつの間にか自分たちで考え、行動できていました。体育大会も皇中祭も英語で伊勢ガイドツアーも自分たちの力で成功に導きました。若干の寂しさを感じつつも、遅くなったものだと感心していました。

日本一を目指す皇學館中学校を存分に満喫して、史上最高に成長した皆さんは、高校でもその先でも自分たちの力で活躍できます。発信力やグローバルマインド、向上心に協調性などあらゆるスペックを活用して、それぞれの自己実現を達成してください。困ったときはみんなで協力するんですよ。きっと解決して乗り越えられます。君たちなら大丈夫。中学校から君たちをずっと応援しています。卒業おめでとう。明日もいい日になりますように。

### 皇學館高等学校

#### 1000ピースのジグソーパズル

3年8組 田尻 奏



私の高校の入学式の記憶は今ではもう曖昧なものになっています。それほどこれまで過ごした日々が濃く色づき、大切なものになったということを表しているのかもしれない。

遠足、修学旅行、クラスマッチ、文化祭、体育大会などの行事を多くの人と過ごしてきました。クラスマッチや体育大会では賞をとることはできませんでしたが、クラス一丸となって一つの目標に向かい取り組んだ経験は、この先きっと大きな力になると思います。友人とおしゃべりをしながら一緒にお弁当を食べた日々。それは、もう何を話したか思い出せないような内容です。しかし、そんな内容で笑い合えたその瞬間こそが特別でした。

私には粗忽な一面があり、この3年間で家族や友人、先生方にさまざまな場面で助けていただき、その都度、感謝の気持ちを言葉にして伝えてきました。それでもなお、感謝の思いで胸がいっぱいです。本当に今までありがとうございました。「当たり前」であったこの日常が、「思い出話」へと刻々と変化してしまうのは寂しいですが、いつか私が大人になったときに、こんなこともあったなと懐かしく想えたらいいな、と思います。

#### 気づきの高校生活

3年3組 浅井 琥桃



私の3年間にテーマをつけるとすれば、「一生懸命」です。私は陸上競技部に所属しています。1年生の頃は陸上をただただ楽しみ、それが結果へと結びついていました。しかし、思うように結果が出せなくなるとともに、私にとっての陸上は、楽しいものでなくなっていました。そして、3年生になり、目標としていた大会に出場することが叶いませんでした。この結果に深く悩みましたが、これをきっかけに、「残りの時間は楽しもう」と割り切って考えるようになり、私にとっての陸上は、再び楽しいものとなりました。最後の試合では、次につながるような跳躍ができ、高校での陸上生活をよい形で締めくくることができました。

一方、私は日々の学習や学校行事にも一生懸命取り組んできました。その過程で気づいたことは、周りでサポートして下さる方々の大切さです。多くの人の「支え」が、私をここまで連れてきてくれました。

「一生懸命」に取り組む。それこそが、自分の道を切り開くのだと気づきました。高校生活は楽しいだけの3年間ではありませんでしたが、私がこれから強く生きるための財産になってくれると信じています。

#### 贈る言葉 美しき日々を

第3学年主任 中西 由佳

美しい春の光を浴びながら、皇學館高等学校の門をくぐってから3年。思い返すと、皆さんは1年生の頃から体育大会やクラスマッチで活躍していましたね。3年間を通してたくさんの勝利を重ね、そのたびに仲間と喜びを分かち合っていました。一方、勝利に届かず、悔し涙を流す姿も覚えています。それら全ては「思い出」となり、皆さんの心の中に刻印されていることなのでしょう。また、自らの進路実現に向けて、友人や先生方とともに一生懸命取り組む姿も鮮明に覚えています。特に今年度の共通テストは初めてのことが多く、不安も大きかったと思います。しかし、最後まで諦めず、果敢に学び続ける姿は頼もしかったです。時間は必ず過ぎていきます。これから始まる新たな日々の中で、また「思い出」が増えていくでしょう。その一つひとつを大切にしてください。後戻りすることなく進む時の中で、その胸の中にある思い出だけが、その時へと戻してくれるのだから。

第60期生の皆さん、美しい時間をありがとう。これから先の皆さんの時間が、いつまでも美しく輝き続けるよう願っています。

Active Student

高い志とチャレンジ精神でもって学内のみならず、さまざまなフィールドで活躍している皇學館生たち。本コーナーでは彼らの熱い思いとともに、その活動ぶりをご紹介します。

大学生テレビ局・北村拓音(現日2)さんの作品が優秀学生作品賞を受賞

日本映像事業協会主催「ヤング映像クリエイターを励ます賞 学生作品賞」



前列中央が北村さん。初ディレクター作品での受賞となった

将来の映像業界を担う若き才能を応援し、彼らの創作意欲を高めようと日本映像事業協会(J・VIG)が主催する「ヤング映像クリエイターを励ます賞 学生作品賞」。

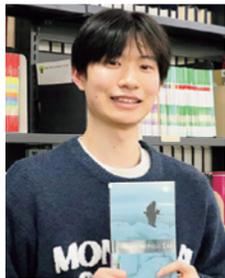
題材に取り上げた御頭神事は北村さんが生まれ育った伊勢市御園町高向で約800年にわたり継承されてきた伝統の祭り。

祭りを支える人たちの情熱や苦勞を間近で映し出すことができたのではないかと振り返る。企画に始まり撮影、編集と、ゼロから完成に至るまでのプロセスを通じて根気強さが培われたと話す北村さん。



大西汰知(コミ4)さんが図書館「多読チャレンジ」で100万語達成

附属図書館で実施している「多読チャレンジ」\*で、大西汰知さん(コミ4)が約3年半かけて100万語を達成した。入学当初、英語力に自信がなかった大西さんは、授業で「英語多読は英語力向上に効果的」と聞き、試しに始めてみたという。



将来は欧州で生活してみたいと話す大西さん

\*「多読チャレンジ」とは、やさしい英語の本をたくさん読むことで英語基礎力を向上させる学修法で、10万語読むごとに表彰があります。

実行委員長・西野青(教育4)さんを中心に5年ぶりに4教ミュージカルが復活!



3月8日(土)・9日(日)、本学記念講堂において教育学科有志による卒業記念ミュージカルが5年ぶりに復活する。

「勇気を持つことや他者を思いやることの重要性を伝える作品に仕上がった」と自信を見せるのは、実行委員長を務める西野青さん(教育4)だ。



台本片手に稽古に励む4教ミュージカルのキャストたち

伝統を尊重しつつ、自分たちの特色を大切にした新たな4教ミュージカルを創り上げることができました。西野さんはじめ有志の情熱が注ぎ込まれた舞台が、いよいよ幕を開ける。

部活動・同好会ファイル No.2

本学では43のクラブと3つの同好会が活動しています(令和6年度)。本コーナーでは注目の部活動・同好会を取り上げ、ご紹介します。

空手道部

普通の稽古内容を教えてください。空手の試合には「組手」と「型」の2種類があり、現在は組手の稽古が中心です。

くことは多く、空手の上達につながっています。教員をめざしている部員にとっては子どもや保護者の方と接するいい機会になります。



空手は体への負担が少なく、長く続けられる武道だという

監督の指導のもと、日々の鍛錬を通じて技術向上と人格形成に努めています。昇級・昇段審査、大会への出場のほか、監督の教え子である子どもたちやその保護者と関わり、切磋琢磨しています。

Table with department info: 部長 吉田直樹, 監督 西村浩行, 部員数 計7名(男子5名・女子2名), 活動日時 火・木・金...18:00~20:00, 活動場所 武道場

直近の成績

- 日本空手協会 関東リーグ 個人有級の部組手 優勝 山中一輝(教育1) 団体 3位(2部リーグ) 5人制



紹介してくれた主将の前川一樹さん(現日2)

世界チャンピオンである西村浩行監督(大19史)から直接指導を受けられることです。大会出場のための手続きを通して社会人としてのスキルも磨けます。



練習はウォーミングアップなどに30分、組手には1時間ほどかける

西村監督からメッセージ

空手をするうえで最も大事なものは、自分をコントロールすることです。試合ではルールに則りますが、その中でもいかに自分を制御できるかが重要で、手足はもちろん、気持ちをコントロールすることが一番難しい。